

新城市 地域の支え合い・助け合いの活動に関するアンケート調査

【結果の概要】

目次

| | |
|---------------------------------------|----|
| 1 調査の概要..... | 2 |
| 2 調査結果の概要 | 3 |
| 回答者の属性 | 3 |
| テーマ1－① 見守り・ボランティア(地域との関わり)..... | 5 |
| テーマ1－② 見守り・ボランティア(ボランティア活動との関わり)..... | 12 |
| テーマ2 相談支援 | 15 |
| テーマ3 災害時要援護者支援 | 18 |

1 調査の概要

(1) 目的

- ◆ 少子高齢化と核家族化により、子育て支援や障がいのある方への支援、ひとり暮らしの高齢の方の見守りなど、住民同士の支え合い、助け合いがますます重要となっています。
- ◆ こうしたことから、市と新城市社会福祉協議会は、地域の福祉活動の推進を図るための計画（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の策定作業を進めており、その一環として、市民アンケート調査を実施し、計画策定の基礎資料とすることといたしました。
- ◆ なお、計画には、主な内容として、次の項目を盛り込む必要があり、アンケート調査では、各項目に対する市民の関わりの現状や意識を把握しました。

【計画に盛り込む主な項目】

- 1 多くの市民が地域に関心を持ち、地域福祉の活動に参加するための対策
…地域住民による見守り活動、ボランティア活動のきっかけづくり、ボランティア団体・NPO法人等の社会福祉活動への支援など
- 2 必要な方に必要な福祉サービスを提供するための対策
…相談支援体制の整備など
- 3 地震などの際に要援護者を円滑に支援するための対策（災害時要援護者支援）
…対象者の把握や日常的な見守り、避難誘導の方策など

(2) 対象及び回収結果

- ◆ 調査は、本市在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した2,000人を対象に実施し、984人から回答を得ました。

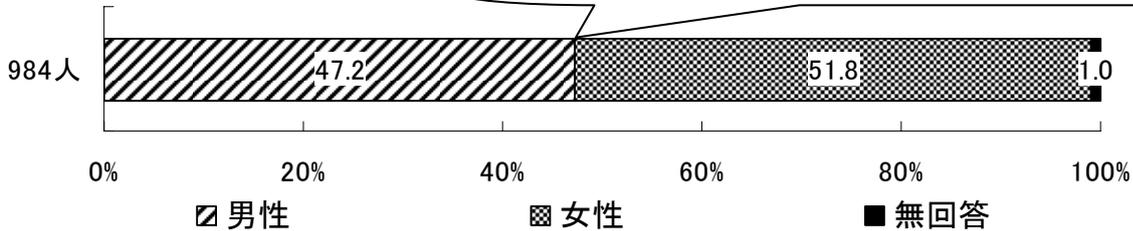
【対象及び回収結果】

| 対象 | 回収数 | 回収率 |
|--------------------|------|-------|
| 本市在住の20歳以上の方 2000人 | 984人 | 49.2% |

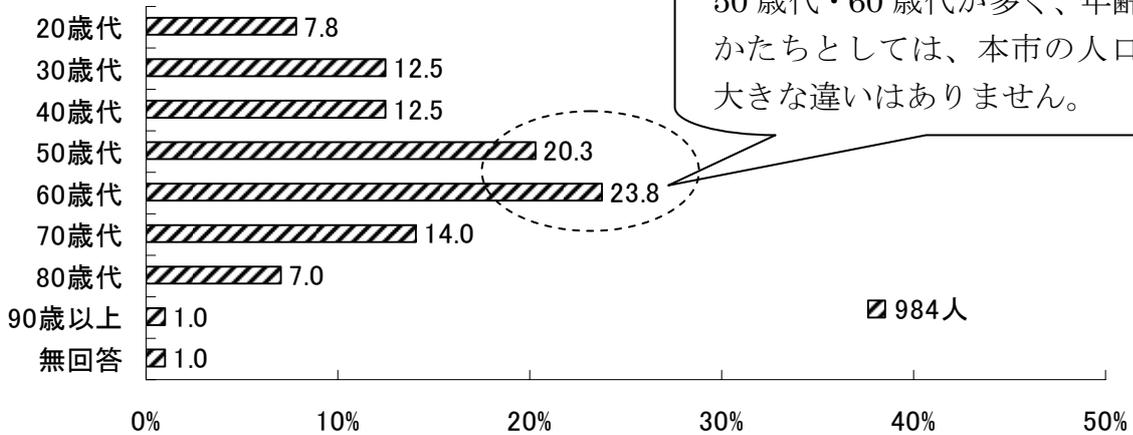
2 調査結果の概要

回答者の属性

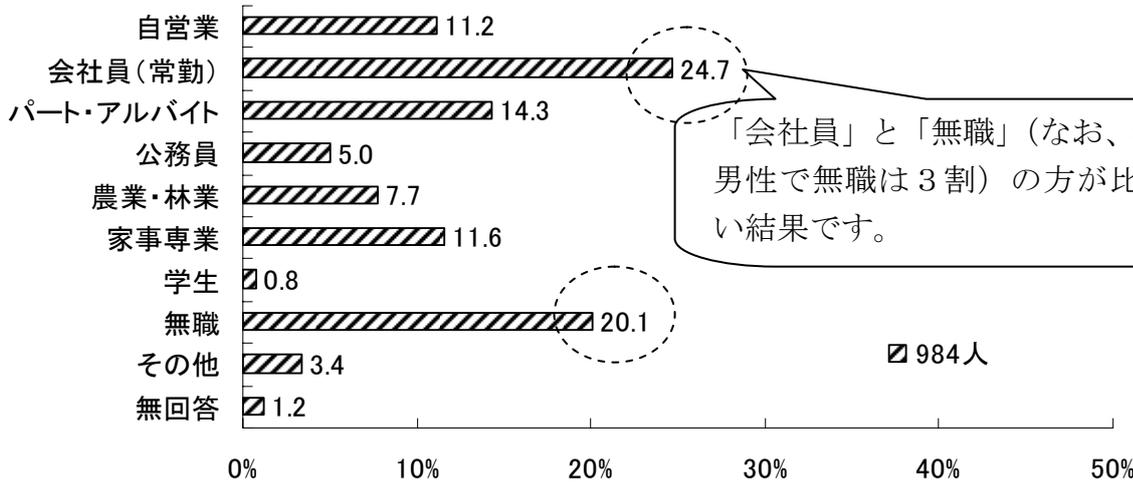
問1 性別【1つに○】



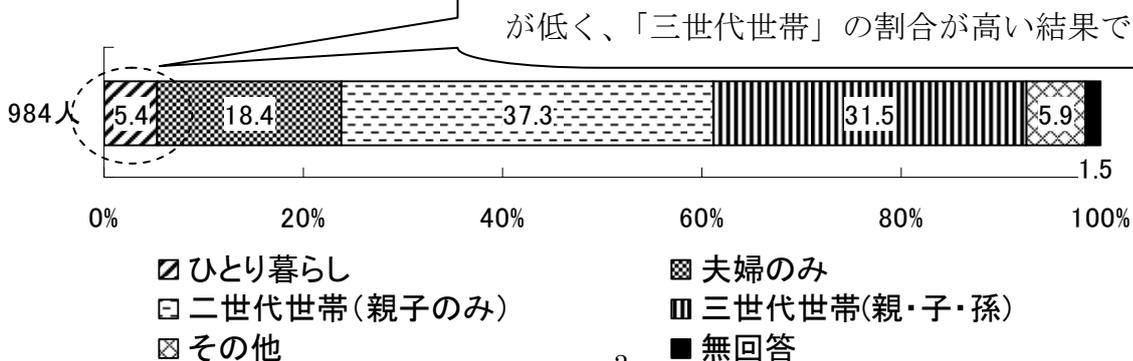
問2 年齢【1つに○】



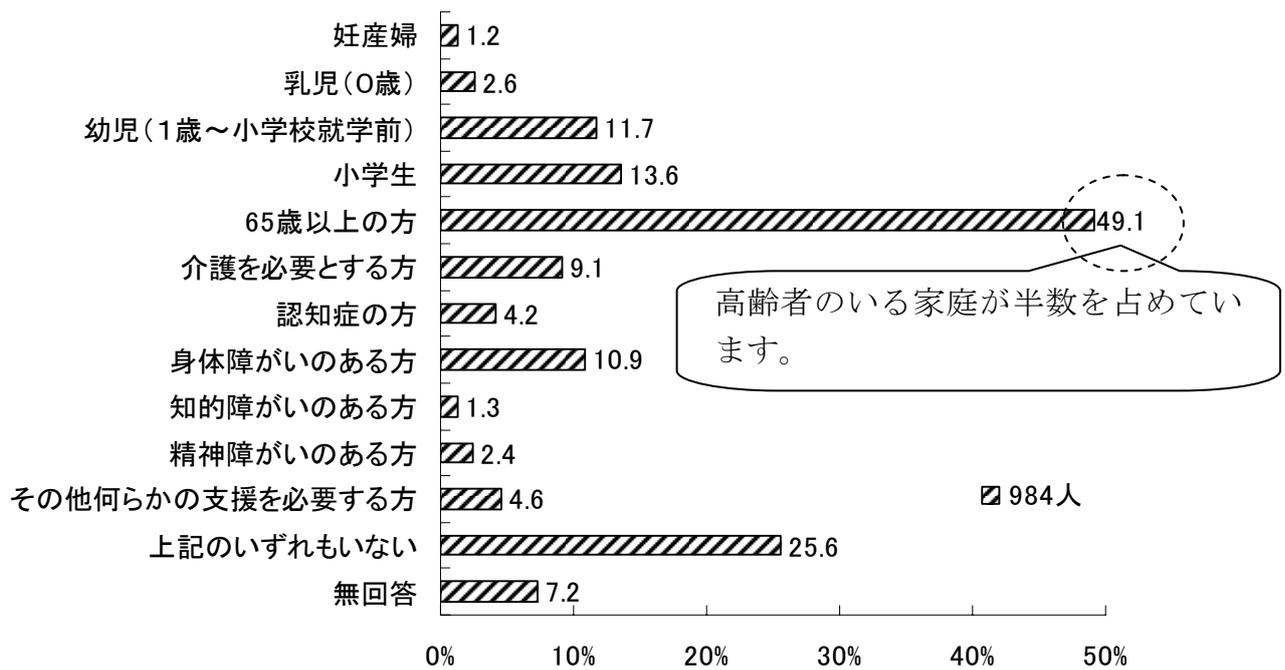
問3 職業【1つに○】



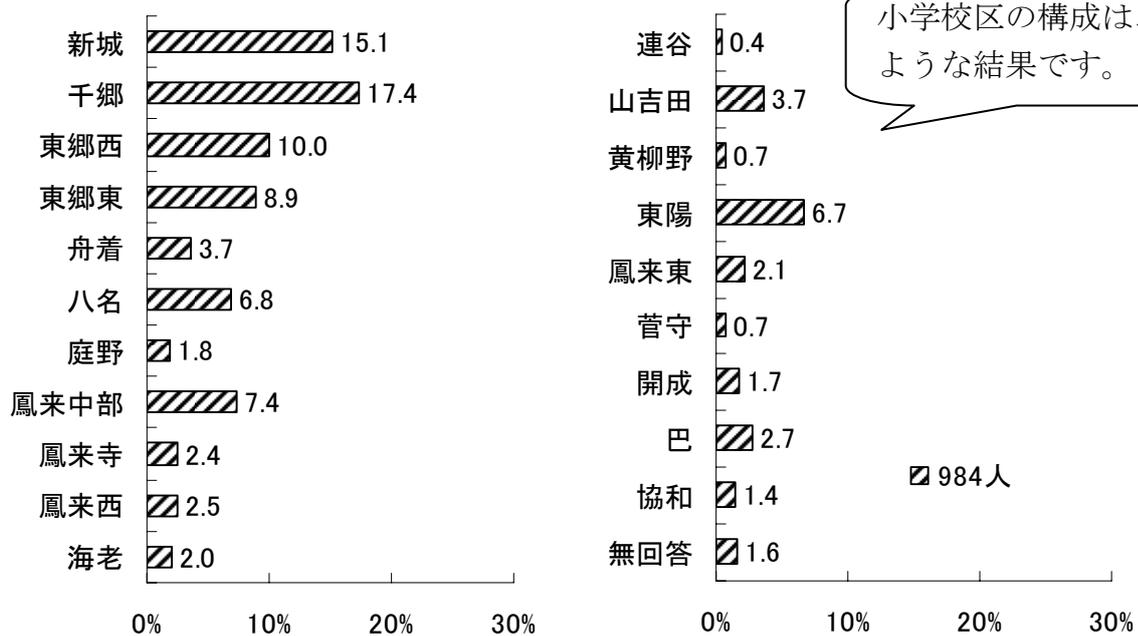
問4 世帯構成【1つに○】



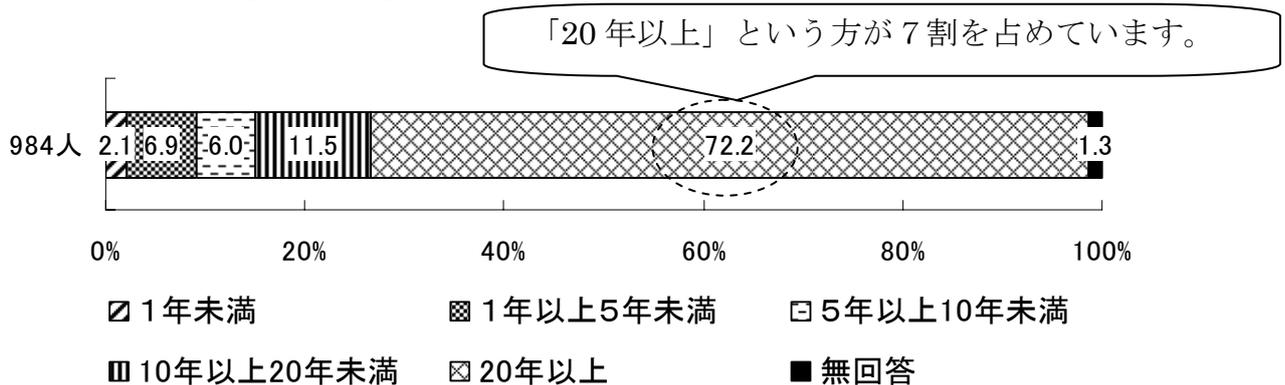
問5 同居している家族(自分を含む)の中に、次のような方はいますか。[あてはまるものすべてに○]



問6 お住まいの小学校区 [1つに○]

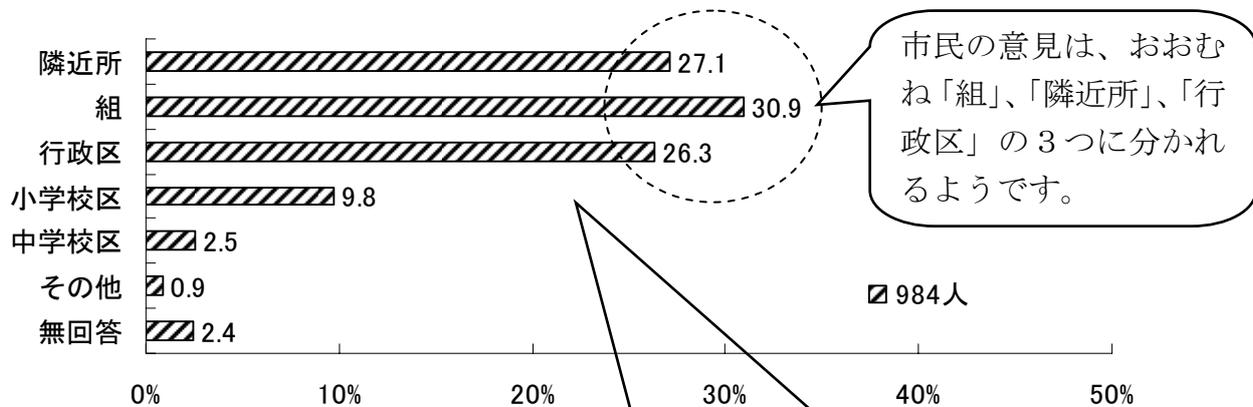


問7 定住年数 [1つに○]



テーマ1-① 見守り・ボランティア(地域との関わり)

問8 住民同士が互いに支え合い、助け合うべき『地域』とは、どのような範囲だと思いますか。
[1つに○]

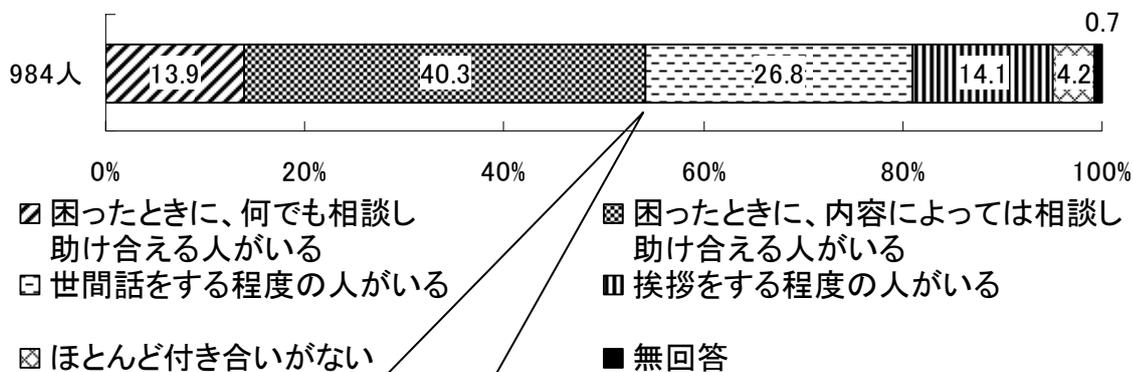


市民の意見は、おおむね「組」、「隣近所」、「行政区」の3つに分かれるようです。

中学校区で見ると、新城中学校区と作手中中学校区は「隣近所」、千郷中学校区は「行政区」、そのほかの中学校区は「組」と、学校区によって、最も多い回答に違いがあります。

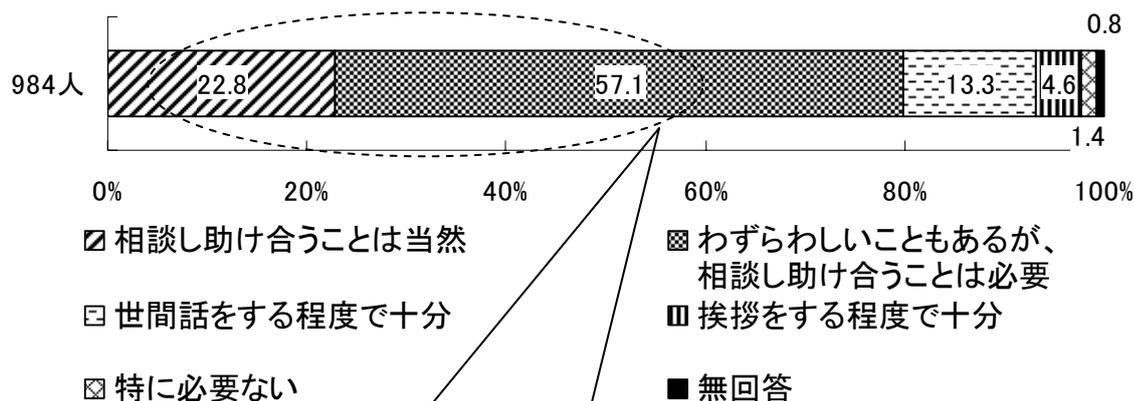
本市の場合、支え合いのあり方は、住んでいる地域で異なるということでしょう！

問9 『地域』の人との付き合いは、どの程度ですか。[1つに○]



現状は、「相談し助け合う」といった積極派と「世間話や挨拶程度、付き合いがない」といった消極派に2分されています。

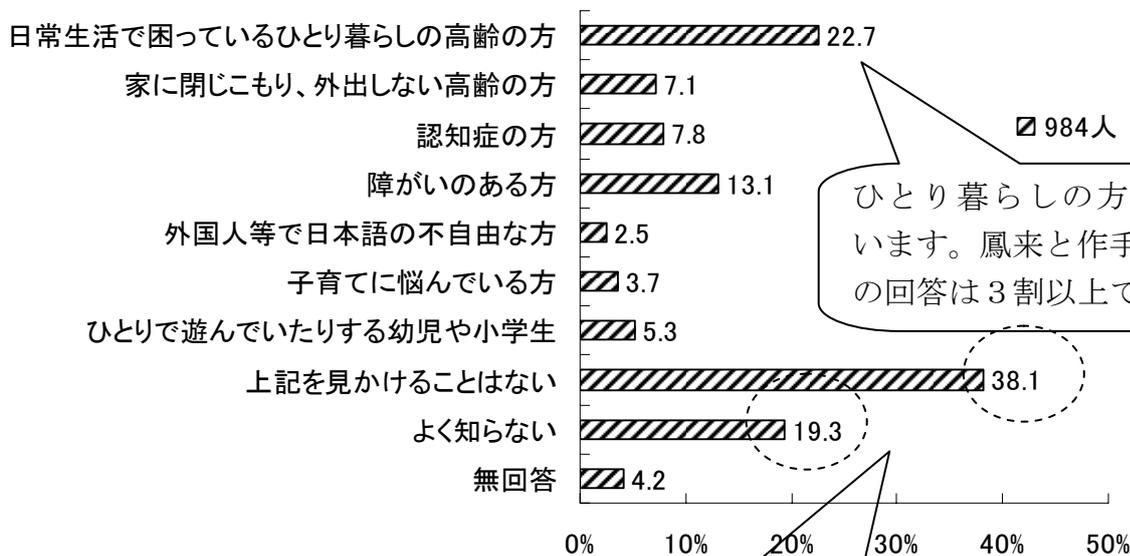
問10 『地域』の人との付き合いについて、あなたの考えに近いのはどれですか。[1つに○]



理想は、「相談し助け合う」といった積極派が8割を占めています。

現状を理想に近づけるには、どのような取組が必要でしょうか？

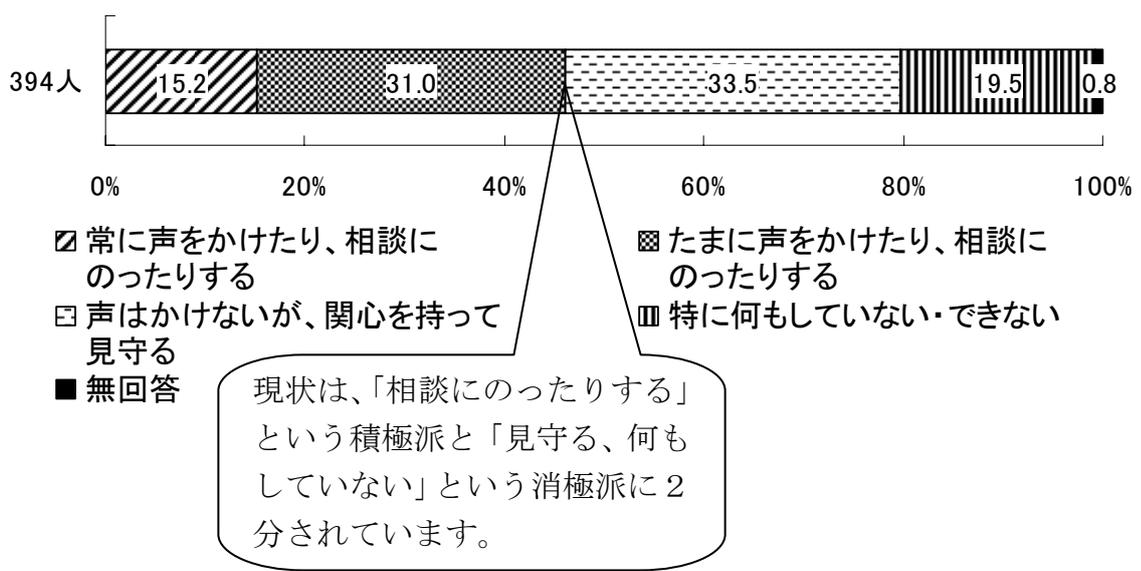
問11 あなたの『地域』で、次のような「何らかの支援を必要とするような方」を見かけることがありますか。[あてはまるものすべてに○]



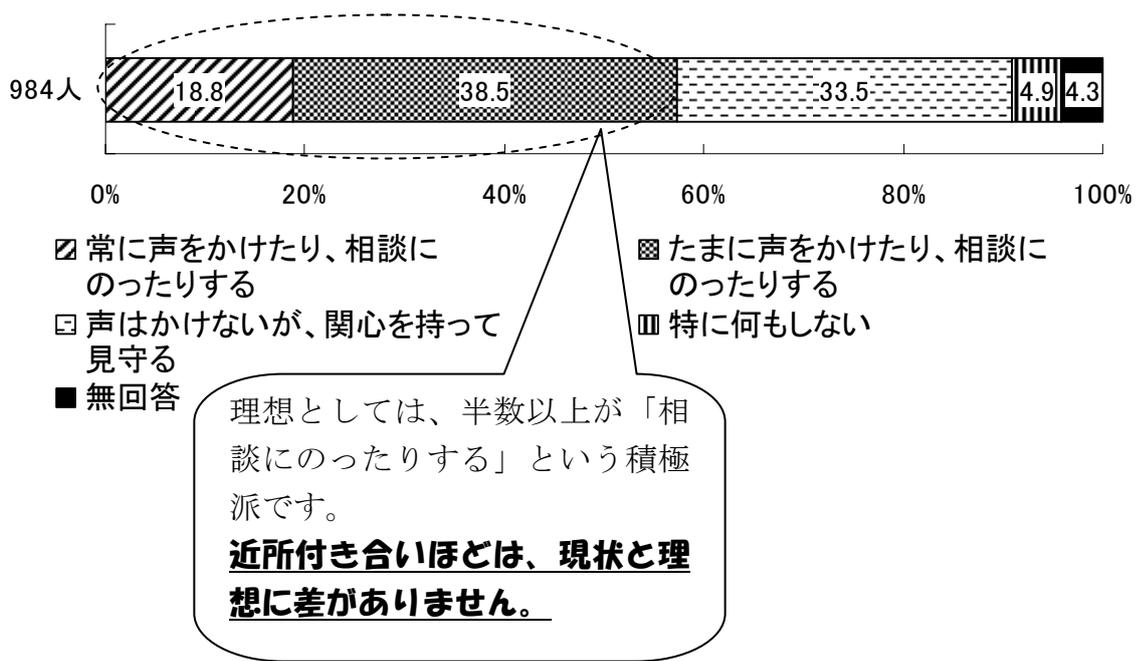
ひとり暮らしの方が増えています。鳳来と作手では、この回答は3割以上です。

「見かけない、知らない」という市民も比較的多いのが現状です。
この割合を減らしたいですね！

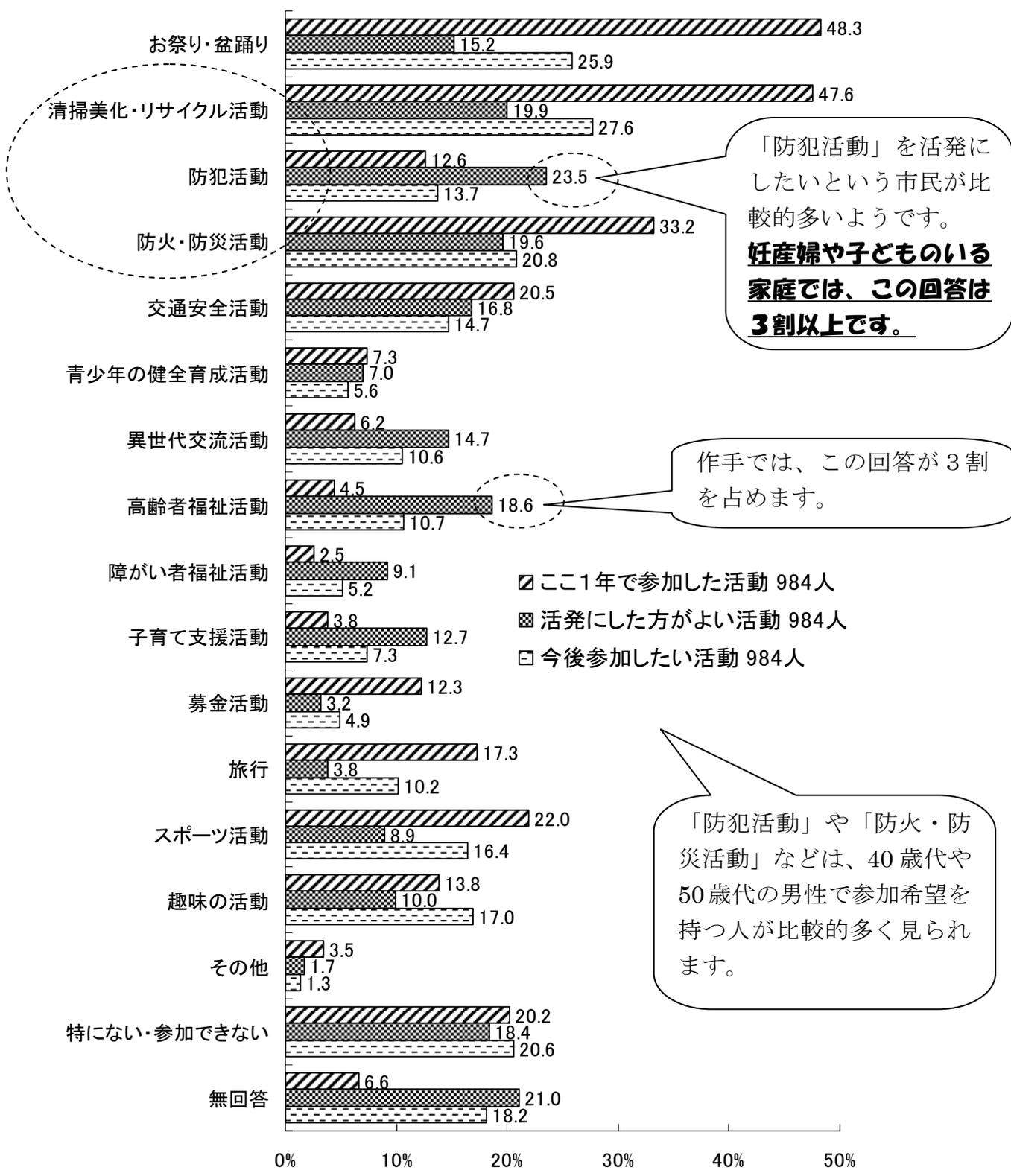
問12 特によく見かける「何らかの支援を必要とするような方」に関して、あなたのこれまでの対応は次のどれですか。[1つに○]



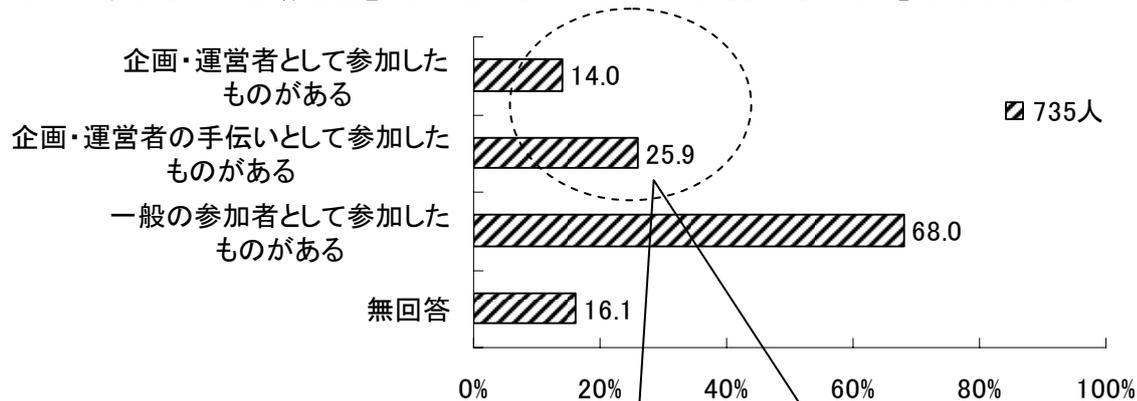
問13 「何らかの支援を必要とするような方」を見かけたとき、あなたはどのような対応が望ましいと思いますか。[1つに○]



問14 町内会・自治会、子ども会、PTA、老人クラブなどの「地域活動」について、質問にお答えください。

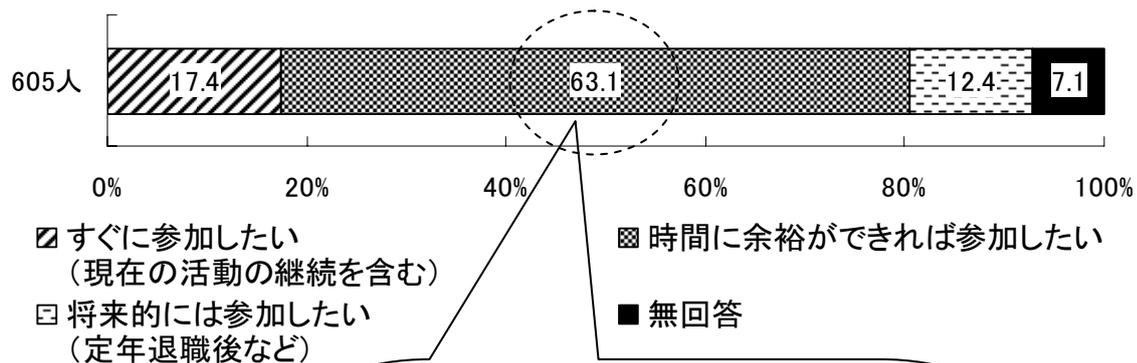


問15 参加した「地域活動」には、どのような関わり方をしましたか。[あてはまるものすべてに○]



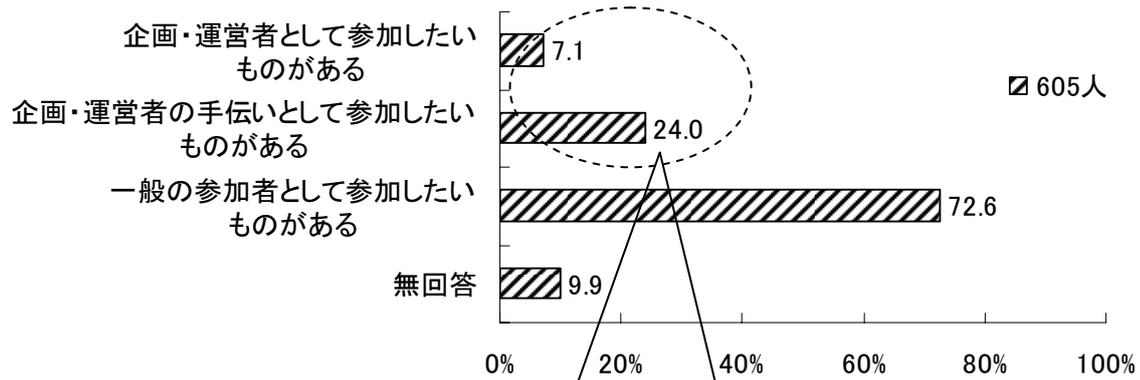
現状は、地域活動を企画・運営する側に立った人は3割です。
この割合は男性で高く、女性で低い傾向で、男女で大きな差があります！

問16 今後の「地域活動」に対する参加の意欲はどの程度ですか。[1つに○]



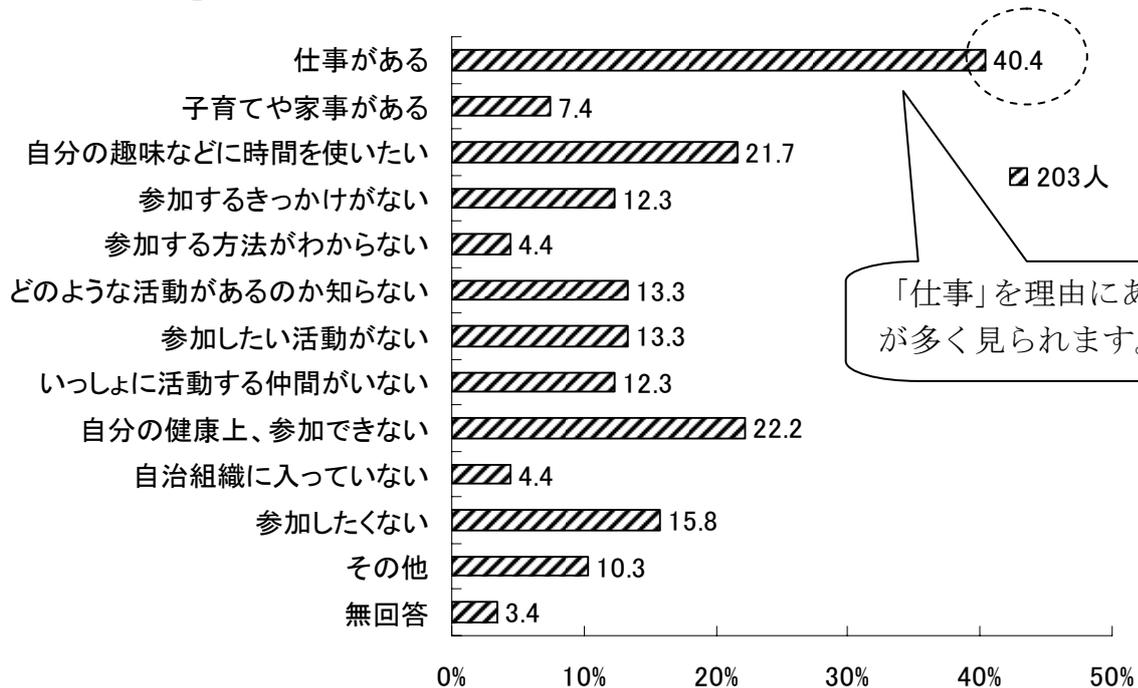
「時間に余裕ができれば」という消極派が6割を占めます。
参加希望の比較的高かった40歳代や50歳代の男性で「すぐに参加したい」という積極派は1割強です。

問17 今後の「地域活動」には、どのような関わり方をしたいですか。[あてはまるものすべてに○]



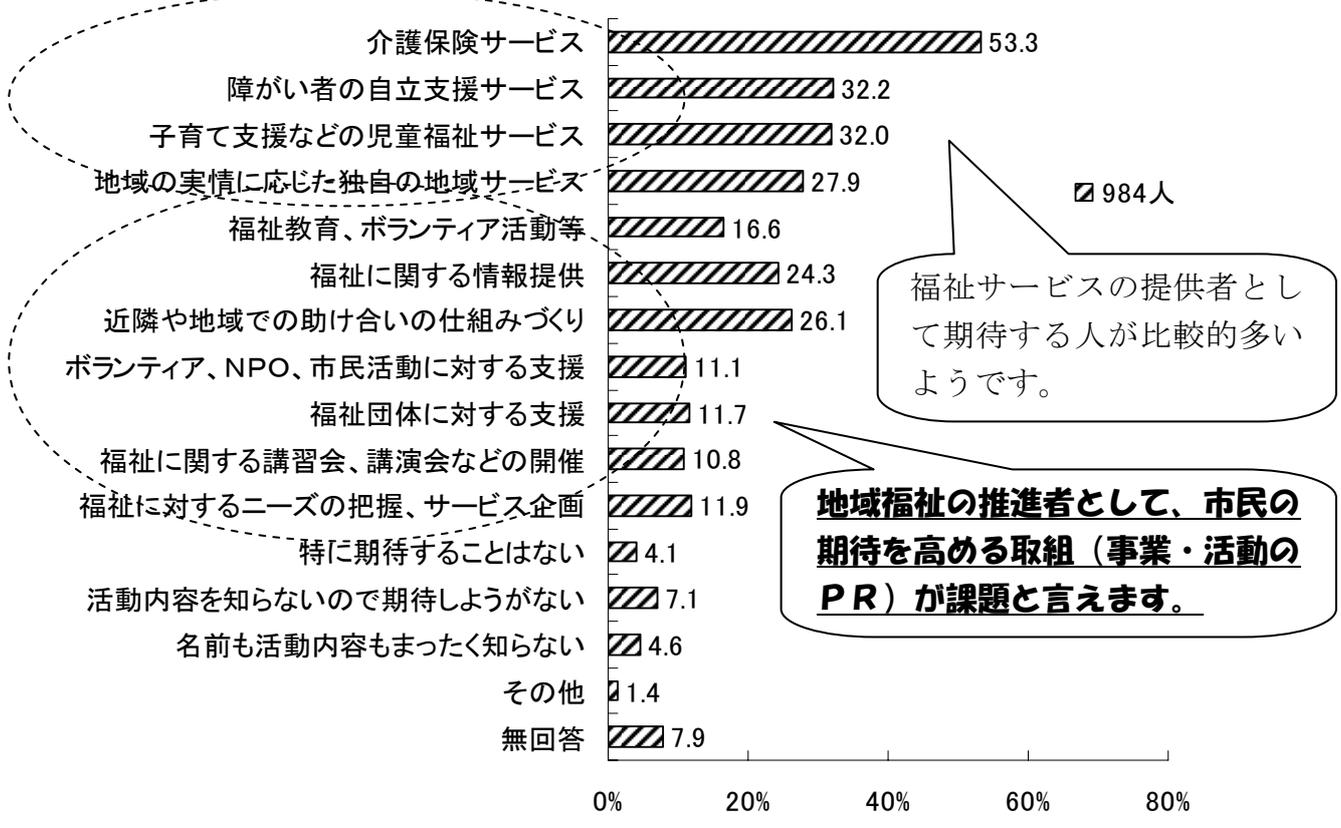
理想も、地域活動を企画・運営する側に立ちたい人は、現状と同じ3割です。
現状と同様、理想も男女で大きな差があります！

問18 参加したい「地域活動」が特にない・参加できない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



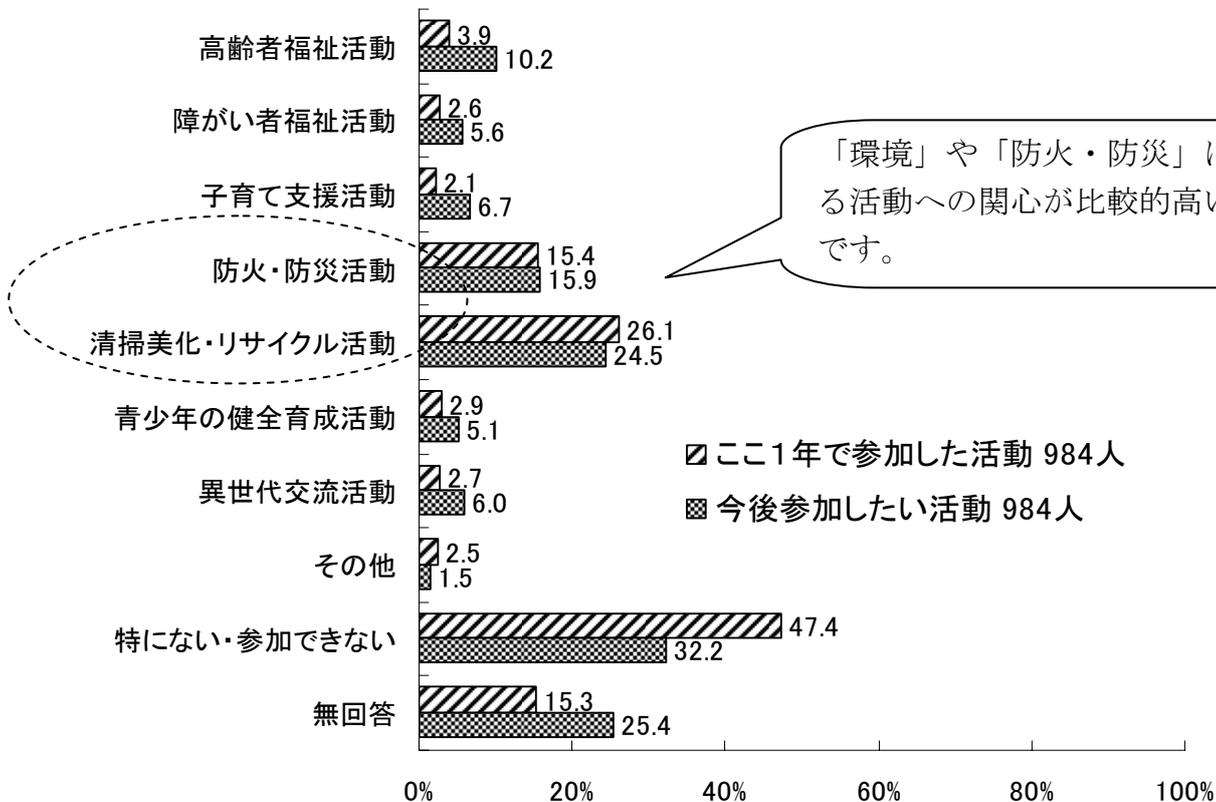
「仕事」を理由にあげる人が多く見られます。

問19 地域福祉を推進し、住民の社会福祉に対する意識の高揚を図るための諸活動を行う「社会福祉協議会」に、あなたはどのような活動やサービスの充実を期待しますか。
 [あてはまるものすべてに○]

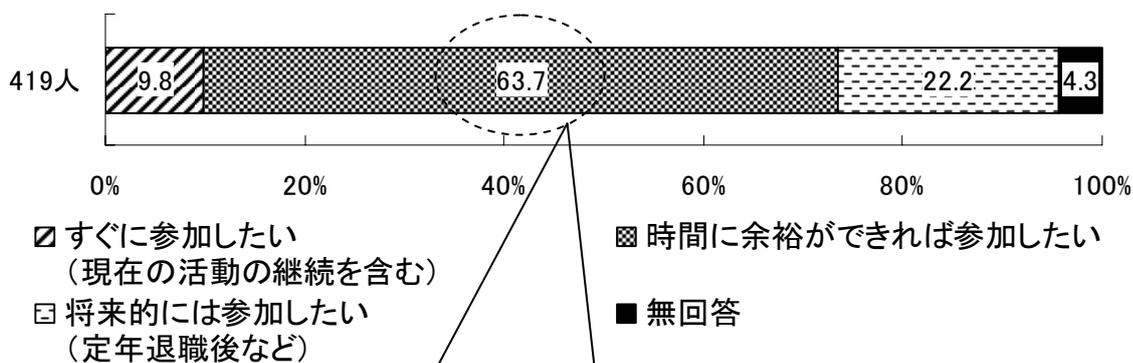


テーマ1-② 見守り・ボランティア(ボランティア活動との関わり)

問20 問 14 の「地域活動」以外で、個人として参加(民間ボランティア団体への参加を含む)するボランティア活動について、質問にお答えください。[あてはまるものすべてに○]

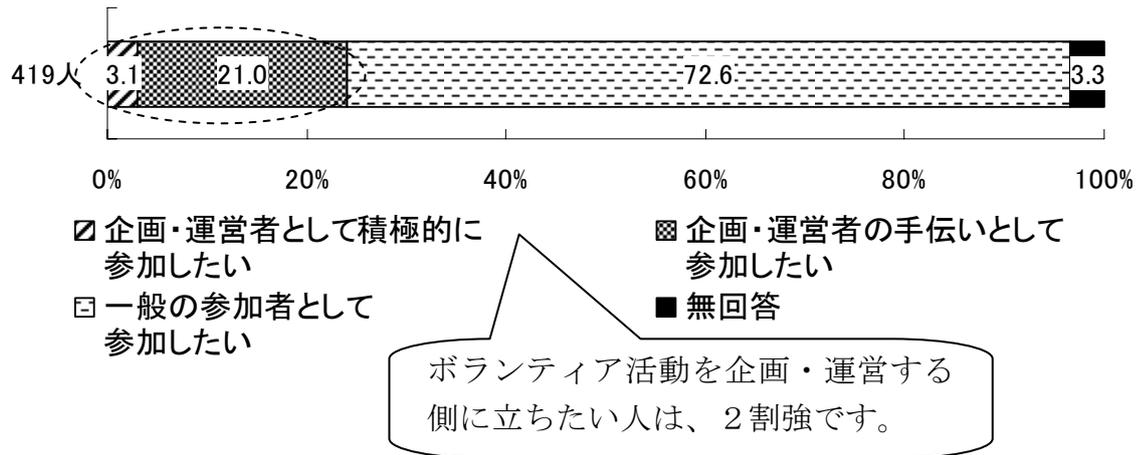


問21 ボランティア活動への参加の意欲はどの程度ですか。[1つに○]

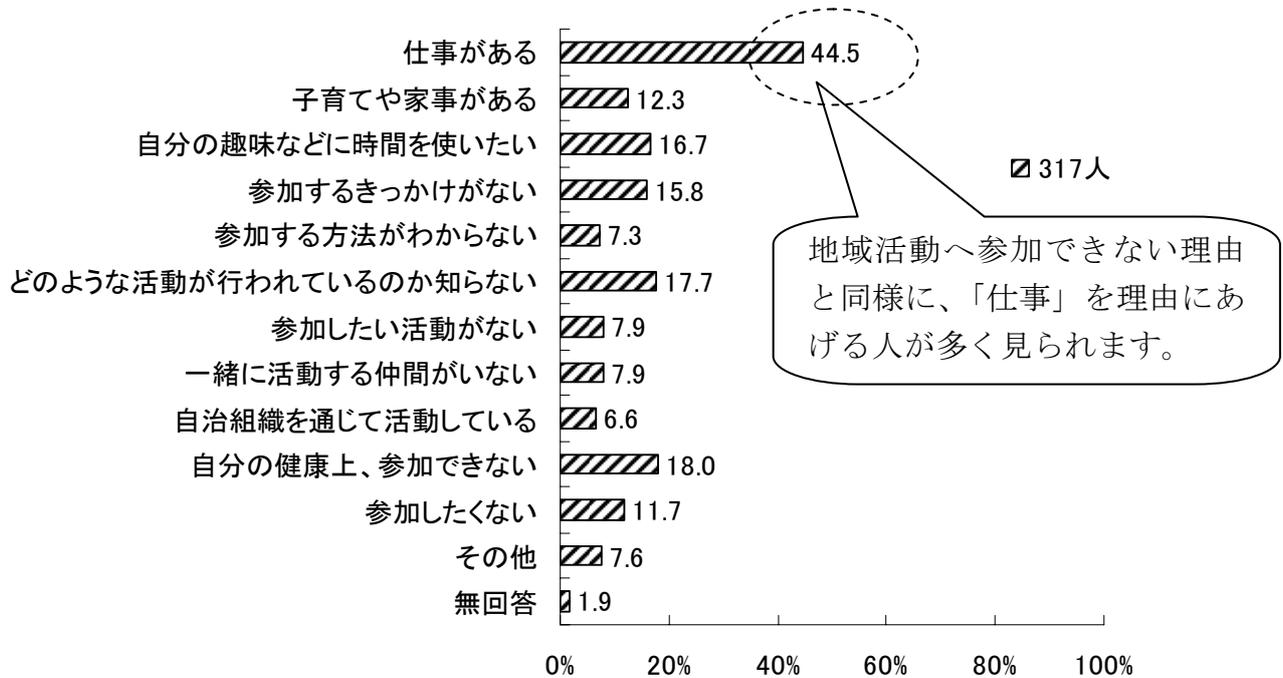


地域活動と同様に、「時間に余裕ができれば」という消極派が6割を占めます。
「すぐに参加したい」という積極派は、高齢者福祉活動や障害者福祉活動への参加を希望している人で多い傾向です。

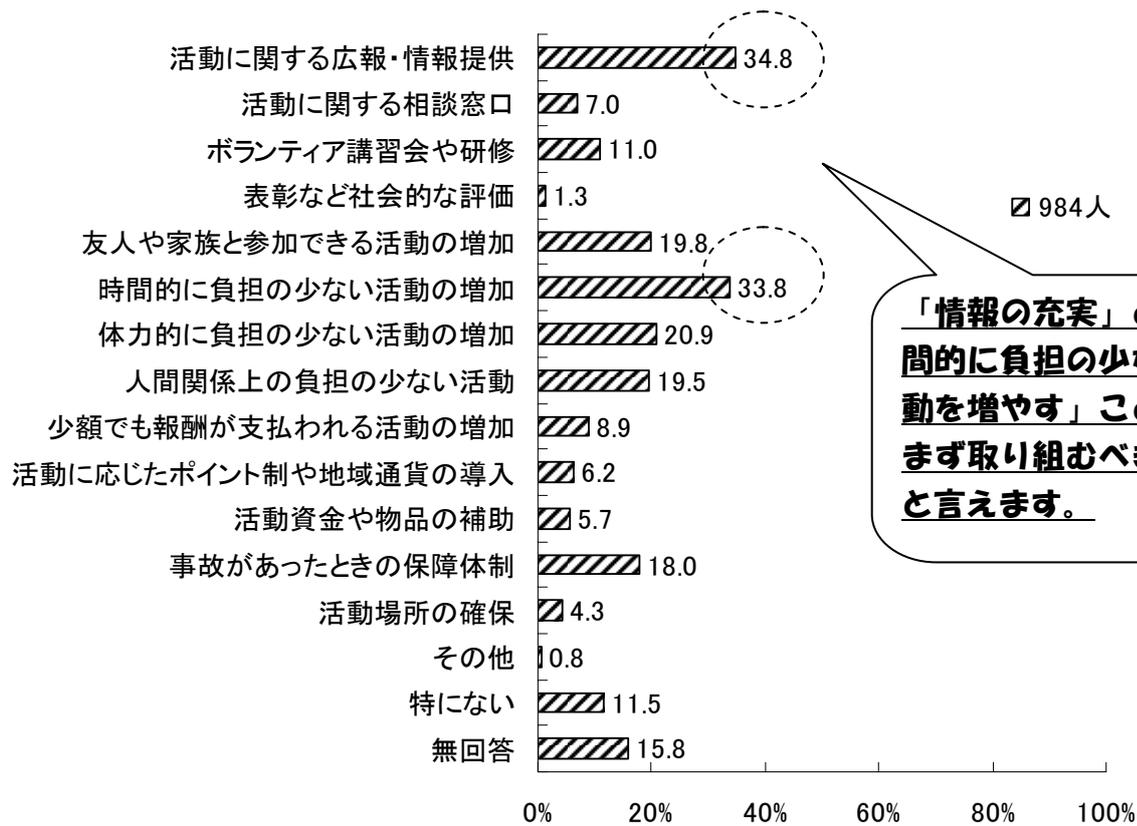
問22 ボランティア活動には、どのような関わり方を希望しますか。[1つに○]



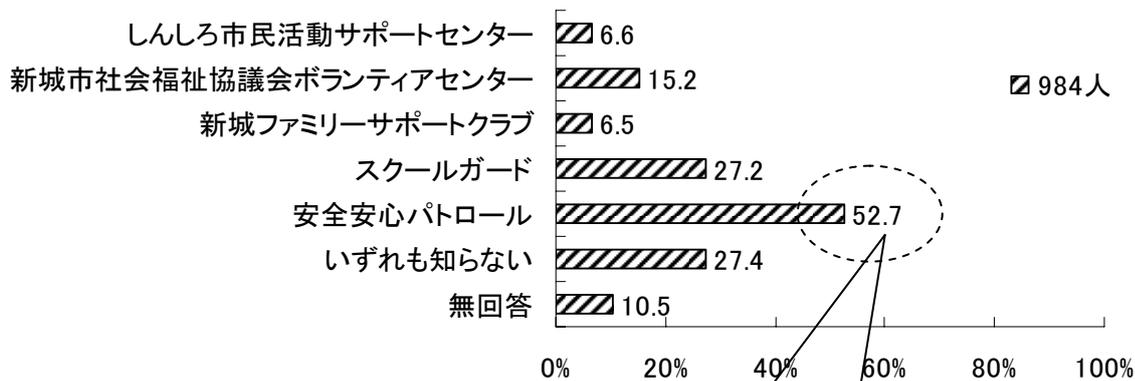
問23 個人として参加したいボランティア活動が特にない・参加できない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



問24 今後、あなたがボランティア活動に積極的に参加するために、必要な支援や条件は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

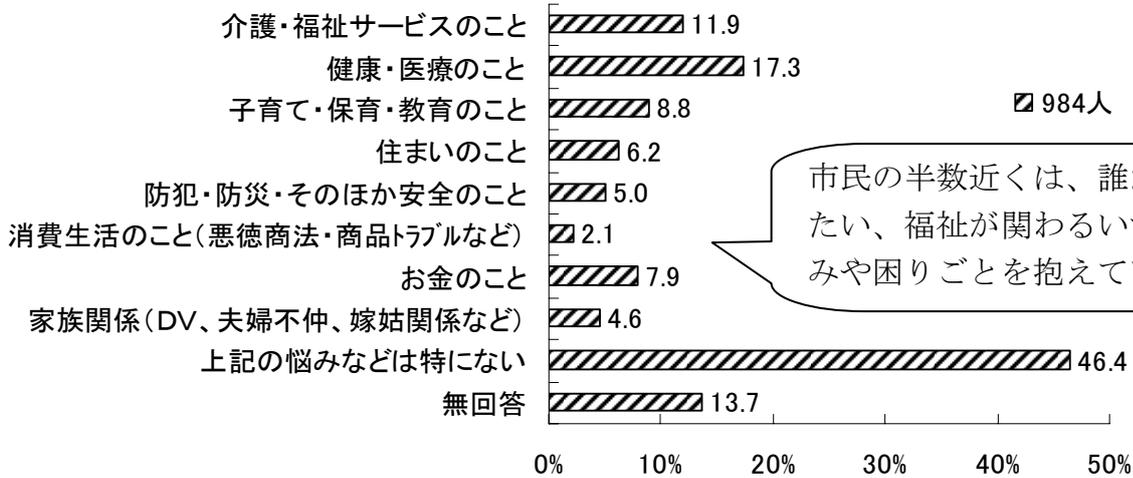


問25 次の地域活動やボランティア活動にかかわる機関や活動のうち、あなたがご存じのものはどれですか。[あてはまるものすべてに○]



テーマ2 相談支援

問26 あなたやご家族に関して、ここ1年程度の間に、次のような誰かに相談したい悩みや困りごとがありましたか。[あてはまるものすべてに○]



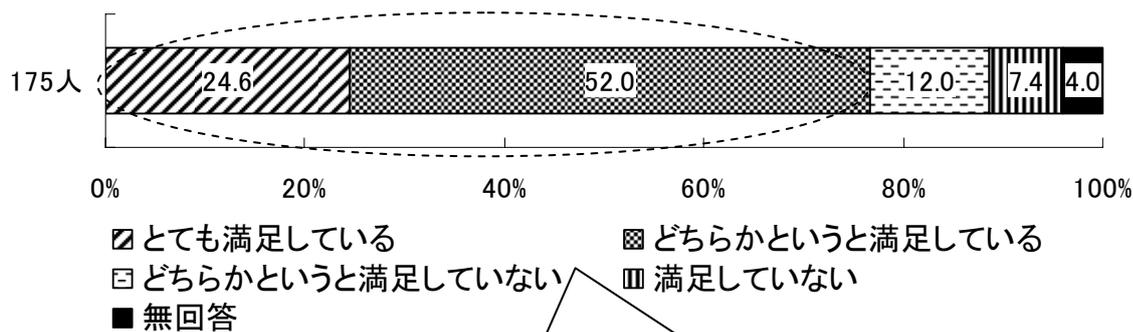
市民の半数近くは、誰かに相談したい、福祉に関わるいずれかの悩みや困りごとを抱えています。

問27 あなたやご家族は、その悩みや困りごとなどに関して、次の誰かに相談したり、相談窓口を利用したりしましたか。[あてはまるものすべてに○]

| 悩み・困りごと | 上位5つ | | | | |
|------------------------------|----------------|------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
| 介護・福祉サービスの こと | 家族・親族 50.4% | ケアマネジャー 46.2% | 友人・知人 28.2% | 医療機関 25.6% | 市役所・支所 21.4% |
| 健康・医療のこと | 家族・親族 57.6% | 友人・知人 34.7% | 医療機関 30.6% | 市役所・支所 12.4% | 隣近所の人 11.8% |
| 子育て・保育・教育 のこと | 家族・親族 75.9% | 友人・知人 64.4% | 隣近所の人 14.9% | 保健センター 10.3% | 学校 9.2% |
| 住まいのこと | 家族・親族 60.7% | 友人・知人 41.0% | 市役所・支所 14.8% | 誰にも相談して いない 13.1% | 隣近所の人 11.5% |
| 防犯・防災・その ほか安全のこと | 家族・親族 59.2% | 友人・知人 38.8% | 隣近所の人 14.3% | 誰にも相談して いない 14.3% | 市役所・支所 10.2% |
| 消費生活のこと (悪徳商法など) | 家族・親族 71.4% | 友人・知人 38.1% | 市役所・支所 28.6% | 医療機関 28.6% | 誰にも相談して いない 14.3% |
| お金のこと | 家族・親族 51.3% | 友人・知人 41.0% | 誰にも相談して いない 21.8% | 医療機関 11.5% | 市役所・支所 10.3% |
| 家族関係(DV、 夫婦不仲、嫁姑 関係など) | 家族・親族 51.1% | 友人・知人 46.7% | 誰にも相談して いない 28.9% | 医療機関 8.9% | その他 6.7% |

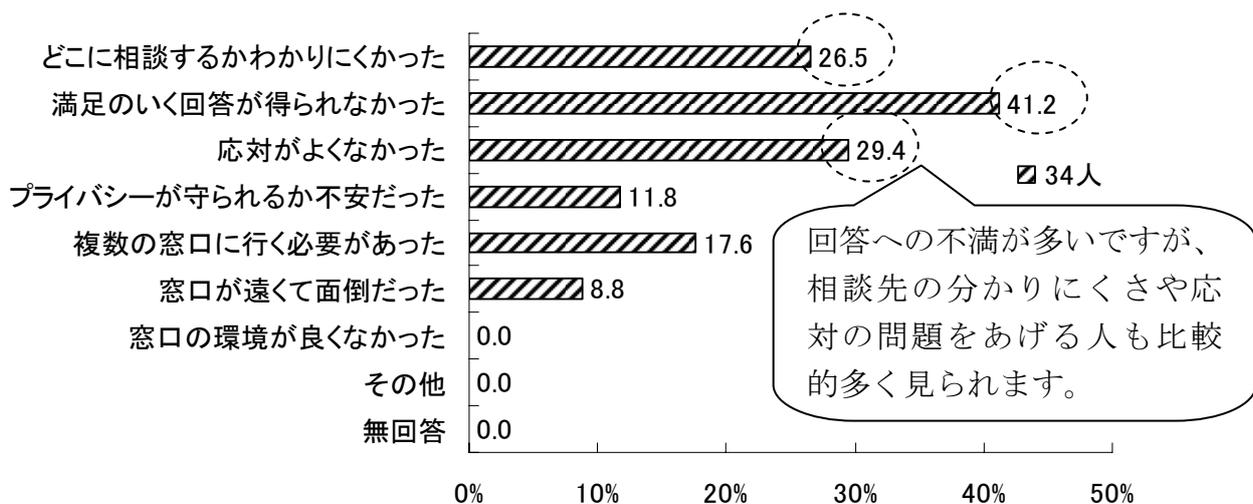
「お金のこと」、「家族関係 (DV、夫婦不仲、嫁姑関係など)」に関する悩みや困りごとを持つ人は、誰にも相談していないケースが比較的多く見られます。

問28 利用した相談窓口などには満足していますか。[1つに○]

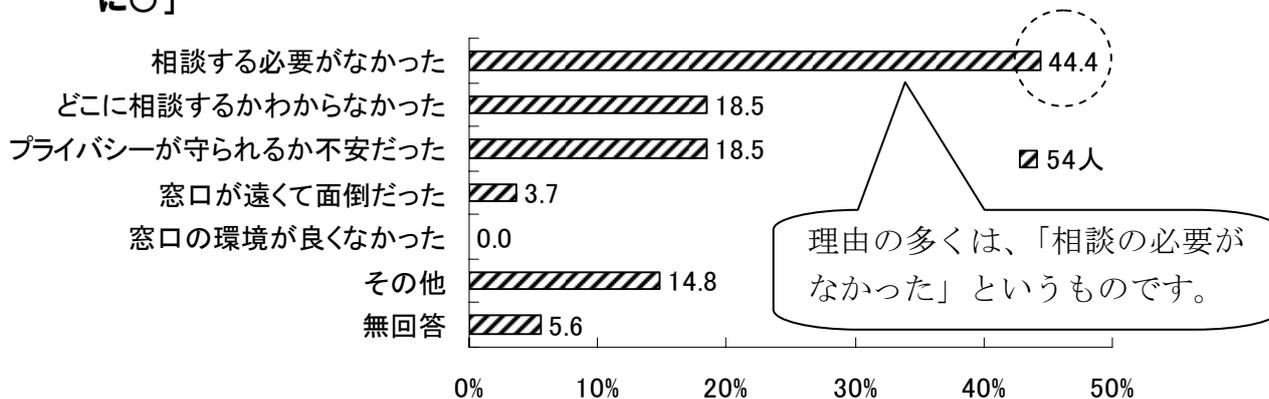


相談機関の窓口や専門相談員を利用した人の8割近くは「満足している」と答えています。
まずは、支援を必要とする人を確実に相談につなげていくことが課題と言えます。

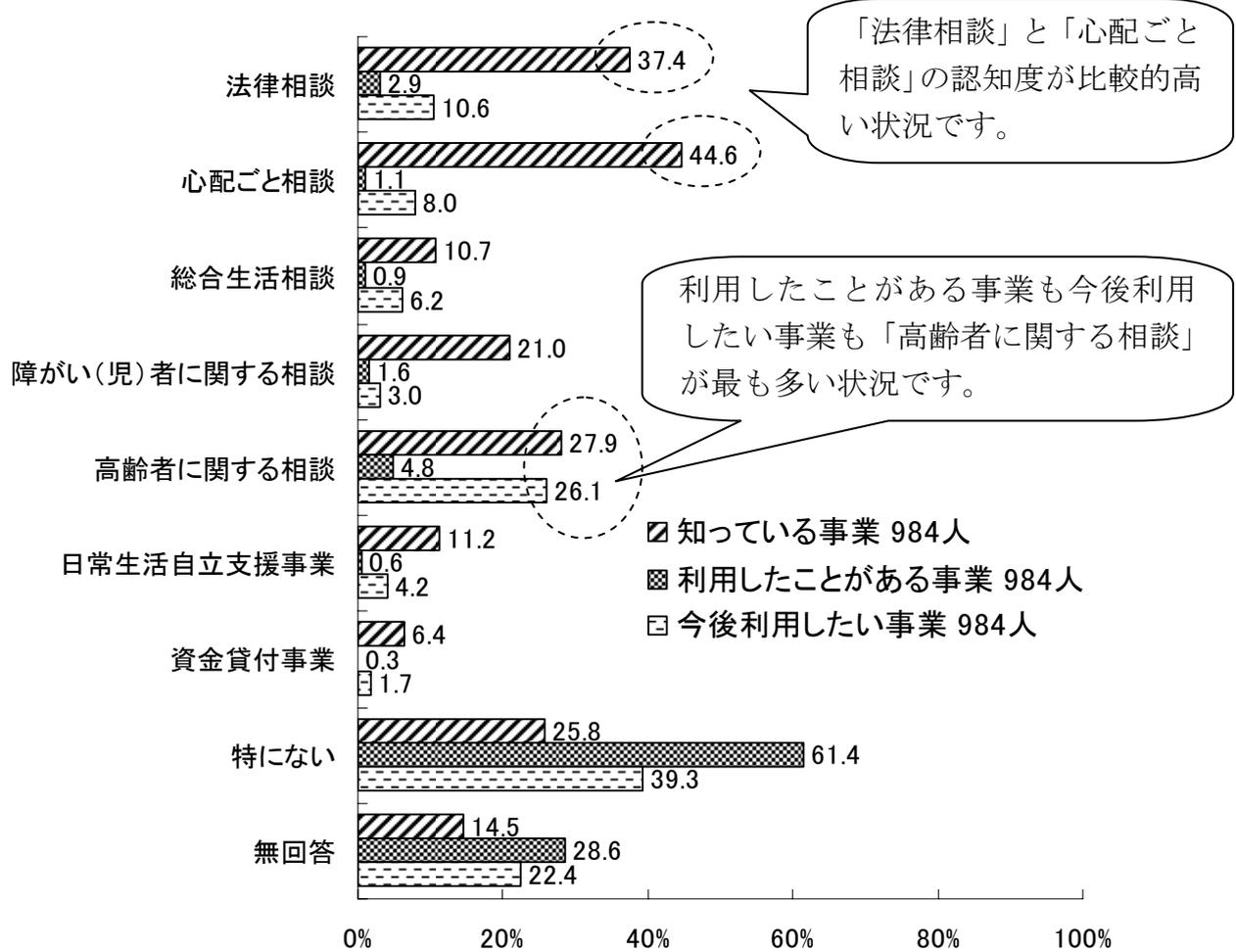
問29 利用した相談窓口などに満足していない理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]



問30 誰かに相談したり、相談窓口を利用しなかった理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

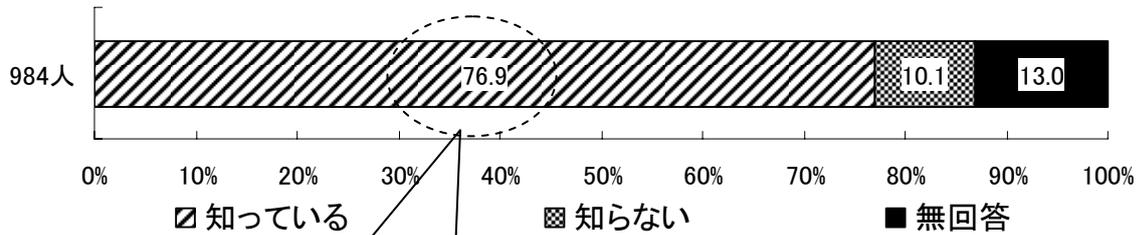


問31 新城市社会福祉協議会などで実施している各種相談事業について、質問にお答えください。[あてはまるものすべてに○]



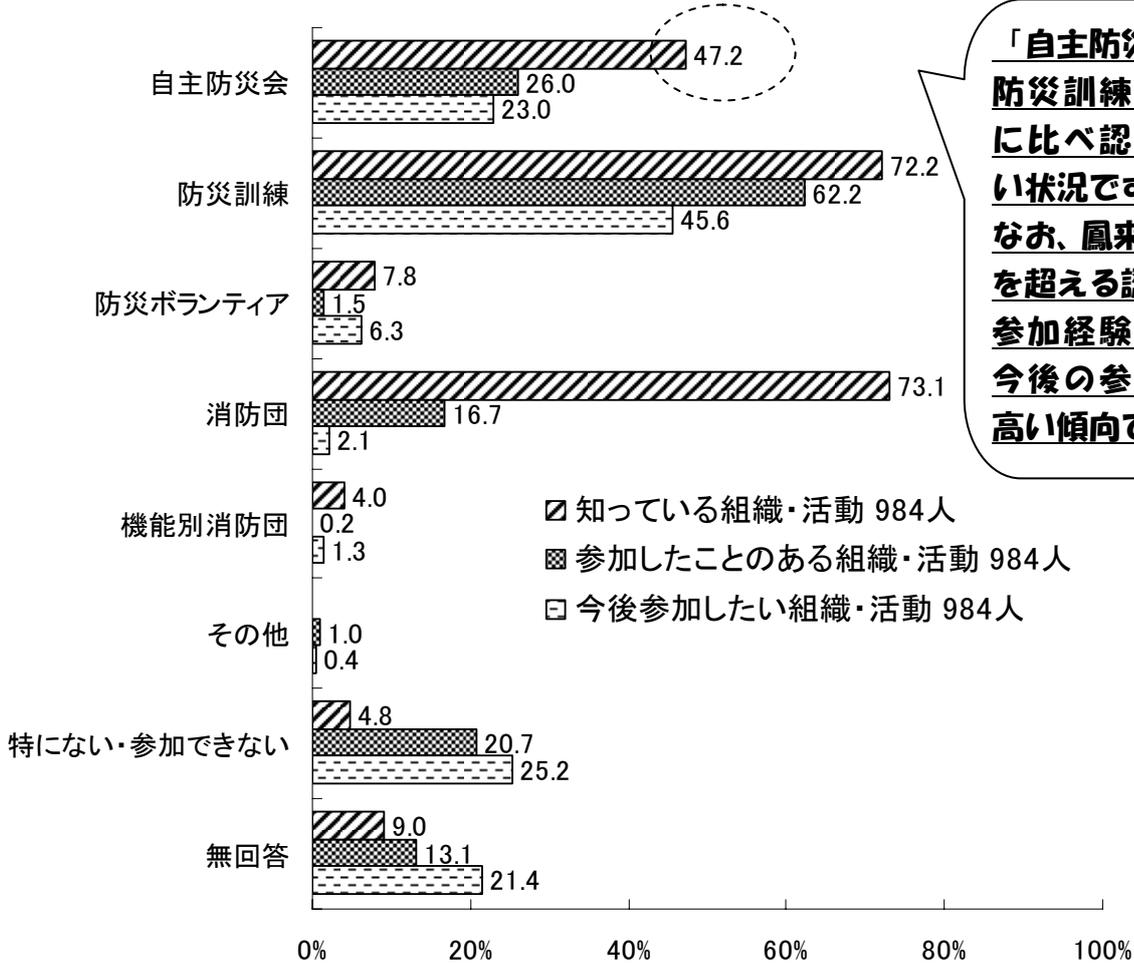
テーマ3 災害時要援護者支援

問32 自宅で災害に遭った場合の避難場所をご存じですか。[1つに○]



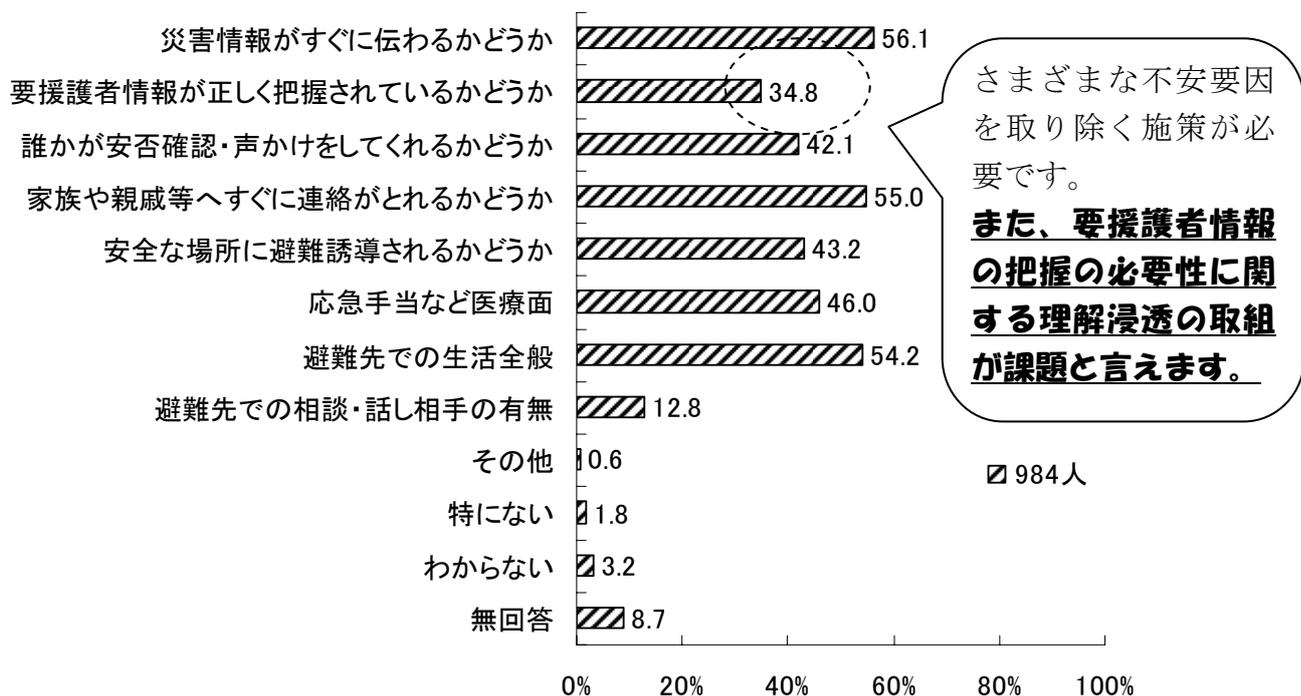
作手以外の中学校区では7割を超える認知状況ですが、作手のみ認知度は6割と低い状況です。

問33 災害時に備えた次のような組織や活動がありますが、これらについて、質問にお答えください。[あてはまるものすべてに○]

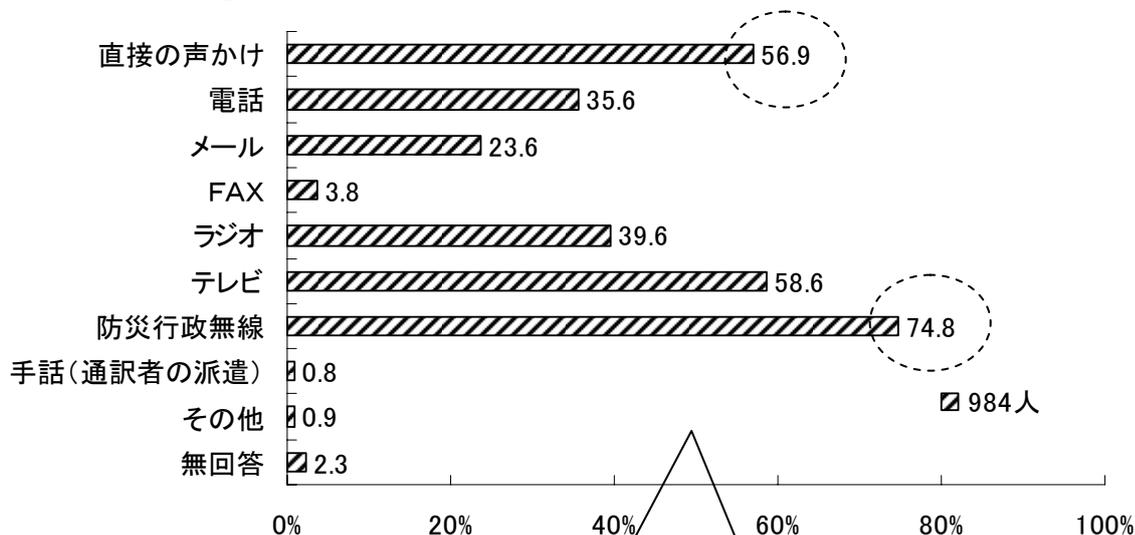


「自主防災会」は、防災訓練や消防団に比べ認知度が低い状況です。なお、鳳来では6割を超える認知度で、参加経験の割合も今後の参加希望も高い傾向です。

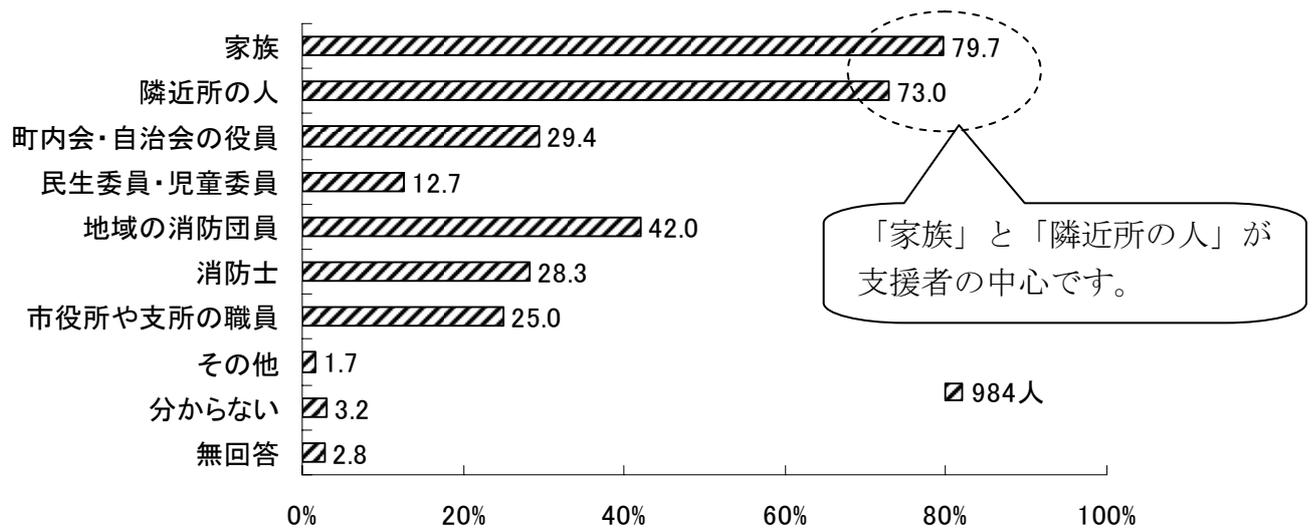
問34 あなたやご家族が災害時における要援護者(介護を必要とする高齢の方や障がいのある方、妊産婦、乳幼児など)になった場合を想定すると、どのようなことが不安ですか。[あてはまるものすべてに○]



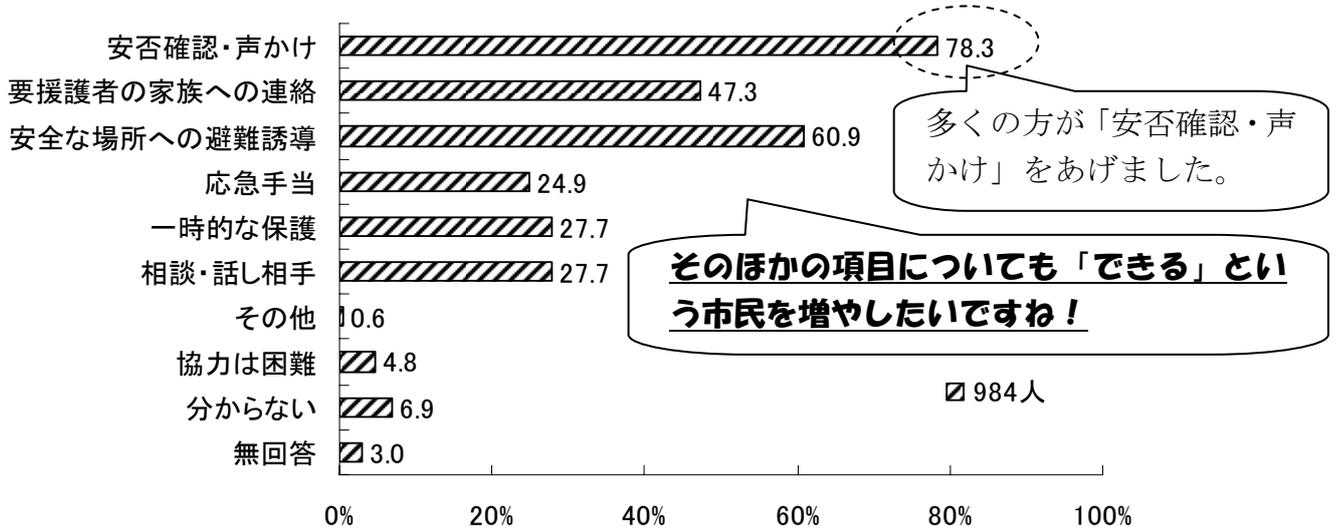
問35 災害が起きた場合に、どのような方法で情報を得たいと思いますか。[あてはまるものすべてに○]



問36 災害時における要援護者の避難について、誰が支援を行うべきだと思いますか。[あてはまるものすべてに○]



問37 災害時における要援護者(家族を除く)のために、あなたはどのような助け合いや協力ができると思いますか。[あてはまるものすべてに○]



問38 災害時における要援護者への「協力は困難」、「分からない」と思われる理由は何ですか。[あてはまるものすべてに○]

